

芸術の森地区町内会連合会

広報 やませみ

地域を支える人



地域ではばひろく活躍
常盤明常会の
隆盛に貢献
柴原 信一 氏

柴原信一氏は、やや細身の体
ではあります、大正六年生れ
の八十才とはとても思えな
いほど若々しく大変お元気で奥
さん共々息子さん夫婦とお孫さ
んにかこまれて地域の老人クラ
ブなどで活躍されている。

氏は機械場(滝野)尋常小学校を経て遠友高等商業科を卒業後、昭和十八年に召集でラバウルに渡り二十三年に陸軍軍曹として復員する。

昭和二十六年に柴原商店を開業し現在セイコーマート「しばら」として地域の人々の生活に密着した町づくりに貢献している。

その間昭和三十年頃からは町内会の役員として活躍し、又三十二年から四十二年までは常盤



伊藤会長

柴原信一氏は、やや細身の体
ではあります、大正六年生れ
の八十才とはとても思えな
いほど若々しく大変お元気で奥
さん共々息子さん夫婦とお孫さ
んにかこまれて地域の老人クラ
ブなどで活躍されている。

氏は機械場(滝野)尋常小学校を経て遠友高等商業科を卒業後、昭和十八年に召集でラバウルに渡り二十三年に陸軍軍曹として復員する。

昭和二十六年に柴原商店を開業し現在セイコーマート「しばら」として地域の人々の生活に密着した町づくりに貢献している。

その間昭和三十年頃からは町内会の役員として活躍し、又三十二年から四十二年までは常盤

平成九年度芸術の森地区懇談会開催

小中学校・石山高校のPTA会長を務められた。

氏は「私の生涯で思い出に残る大事業は、常盤小中学校の学

校林の運営であった」としみじ

み語り、当時を振りかえり地域

の方々に厚くお礼を申し上げる

と深々と頭を下げておりました。

子供たちや学校のためにもと

自ら活躍をした一人である。

数年後町内会の役員を辞任、

老人クラブ結成のために地域の

有志の人達とその作業にとりか

かり毎日忙しく飛び回り常盤老

人クラブ明常会が誕生した。

昭和四十五年には石山高校創立二十周年を迎えた校長、PTA会長より表彰を受け、更に五十九年、六十一年と南区老人ク

ラブ連合会会长表彰、札幌市長

板垣氏より札幌市長表彰も受け

ている。

更に平成二年・三年に常盤小

学校・常盤中学校の両校長より

表彰を受けている。

平成五年には常盤老人クラブ

明常会の会長に就任、会発展の

ため奮闘された。

平成六年からは豊平から定山

渓までの米小売組合の副会長と

して活躍し、現在もその要職に

ある。今は常盤老人クラブ明常

会の書道教室で書道の指導にあ

たっている。

はばひろく地域に貢献された

柴原信一氏に感謝をし、これからもますます元気で活躍される

ことを心から願願する。



第8号

平成9年6月30日

発行 芸術の森地区
町内会連合会
印刷 (株)辻出版社

芸術の森地区連町総会終わる

重要課題
福祉のまち推進センター
街づくり推進センター

四月二十七日、午後一時三十分から「芸術の森地区町内会連合会の総会が開催されたので、その概要をお知らせする。

理事、代議員（三十六）出席のものと、常盤一区町内会長中野務氏を議長に選出、議案の審議に入り、事業報告、会計決算報

告、同監査報告が行なわれ、報告通り、可決成立された。

決算書の要点は次のとおりである。

総収入五二九万円、七九八円（繰越金を含む）に対し、総支出四八五万円、五八一円で、主な支出は運営費一〇八万五千円、事業費二五四万四八円。事業費の主なものは助成金一一七万八

千円、各部活動費一三八万六千円、積立金百万円等である。

新年度の計画案では、事業計

画、予算案が提案通りの承認さ

れ役員改選で佐々木会長の後任

に伊藤正氏（前副会長）が選出

され。平成九年度は、「街づくり推進会議」や「福祉のまち推進センター」の設立、運営等重要課題の処理を迫られる年度である。

この予想もある。

篠の花が咲いて

凶作の時食用にした

「じねんご」が実る

の予想もある。

の農家は不安な毎日で

いる。

落とした枯れたと思っていた街路樹の「ななかまど」が一年後また新芽を吹き白い花を咲かせて

いる。

昨年の大雪で庭木のりんごが折れてしまった。春先に皮が残っていたので傷口を合わせて副木をし、ビニールテープでしっかりと巻いておいた。

昨年は葉もつかなかつたが今

年になって元気よく新芽を吹き

出了した。

元気ですくすく育つていた

庭木が突如として葉を落とし枯

木となつて生命を終えることも

あるし、生命を終えたと思った

庭木が生き返ることもある。

どんなに科学が進んでも生死

を断定することは難しい。

▶人工心臓で呼吸し、肌に温

りがあつても臓器の提供申出者

は、脳の働きが停止すると屍と

して扱われる「脳死を死と判断

する」法案が国会で可決された。

屍の臓器が移植を待つて

いる。

難病患者の助けとなり、患者の

体内で生き続けることも価値が

あるが、一步進んで細胞増殖で

創られた自分の複製（クローニング）

が社会で活躍することを

望む人は少ないと思う。

▶さてさて個人の生死を判定す

る医者は心臓死と脳死をどのよ

うに考え方ですか、大変な

役割を負わされたものと同情し

ている。

やませみの眼

▼四・五月の高温を忘れたかのような異常低温が続き、冷夏の予報が出ている。自然相手が作る時食用にした「じねんご」が実る

の予想もある。

凶作の時食用にした「じねんご」が実る

の予想もある。

の農家は不安な毎日で

いる。

広報「やませみ」

街づくりビジョン七月末決定

住民の声歓迎

「芸術の森地区街づくり推進会議」が発足した。

南区の市民部長始め関係者が参加して会議が結成された。この先駆けは約十年ほど前に、常盤、見晴、常盤団地の各会館で、集いがもたれていたが、今回全地域を結集する大きな組織が結成されたのである。委員長の高橋氏は企画、行動



高橋常任委員長

力にすぐれていますのでその活躍が期待される。

「芸術の森地区街づくり推進会議」の設立回総会が、六月二十日、地区会館で開催された。

「芸術の森地区街づくりビジョンの策定」と題して札幌市長期計画に連動した「芸術の森地区の街づくりビジョンの策定」の記事が前号に載った。(再読戴ければありがたい)

坂本市長は来賓として出席

祝辞のなかで

十分に生かされて計画に盛り込まることが大切」と、強く呼びかけた。

連町総務部副部長の定池教諭

氏の司会で会議が開かれ、議長

承認を得た。

議事三号 役員選出

議長の「役員選出方法」の質疑で「議長指名」の提案があり、議長は事務局案の提示を求めた。

高橋稀一氏が左記名簿案を発表

逐条こと、補足

説明をし、一括

設置要項審議

稀一氏が五回の

会議内容を文書

で報告。

議事二号

監査委員 安藤晃一

連長副会長高橋

稀一氏が五回の

会議内容を文書

で報告。

あの町 この町

地が決まらず、石山小学校（当時）の体育馆で待機して、いた。同年九月になつてようやく払下げ地が真駒内御料林の丘陵地（現在の常盤台、芸術の森付近）に決まり、拓北農兵隊の隊長たつた奥島憲仁氏（故人）を中心に、出发當時の四十戸のうち、二十戸がこの地で開墾を始めた。この奥島氏の次男である憲光氏は、当時の開拓の苦労を「この地

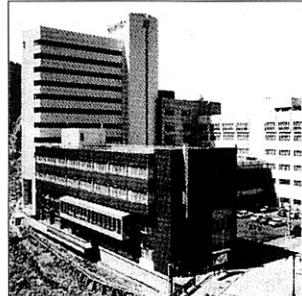
常盤台町内会会長

緑豊かな常盤台
芸術の村を夢見

常盤台町内会会长
定池教章

定池教章 整備する) 今も、石山三号線沿いの前述の奥島さんの土地に、巨大な栗の木が四方に大幹を張り、偉容を誇っている。昭和二十九年の植樹当時から、すでに太木だったこの木は、当時の入植者には忘れられない大樹である。この老木に恥じない、地域のあり方を今後、住民の方々と一緒に考えていくたいと考へておられる。まず一つめには、市街化調整区域(現在指定され

ら指定する案が提示され（会長：連町交通安全部長、副会長：連町交
通安全副部長及び指導員代表、常任委員、会計、監事）異議な
く承認された。役員改選は会則に従つて平成九年度の交通安全
推進委員会の会長は、自動的に星重男氏（連町交通安全部長）
に決定した。総会終了後、懇親会をにぎやかに開始。全員で今
後の活躍を誓い合い散会した。



政府登錄 國際觀光旅館

HJ 定山渓 ホテル

〒061-23 札幌市南区定山渓温泉西4丁目 ☎(011)598-2111 FAX(011)598-2110

芸術の森地区会館運営委員会終了

芸術の森地区町内会連合会の総会終了後、直ちに会館運営委員会の総会が開催されました。その概要是次のとおりである。
議長選出では中野務氏（常盤一区町内会長）が選ばれ、議事に入り、一号議案の決算報告、監査報告は萬場致承認された。決算書の概要是次の通りである。

- (○総収入 三五万六千円
(予算は一五四万九千円、収入増は会館使用数の増)
○総支出 一四五万八千円
○繰越金 七九万九千円
このように新年度の予算は、施設維持費の増加と大中の繰越金のお蔭で、特別会計からの繰入金無して運営でき健全財政の目途が立った。九年度予算案も異議なく承認され、役員改選では星重男氏(連町副会長、石山東町内会会長)が再任された。今後も会長を先頭に各役員が協力して一致し芸術の森地区住民の文化的・社会的に最大限活用されるよう運営することを願つていい

芸術の森地図交通安全推進委員会総会
会則改正・委員長星重男氏就任

報告、監査報告があり、異議なく承認され、統いて九年度の事業計画案及び予算案が提示され、予算案では、助成金と連町交通安全部活動費を有効適切に執行するよう意見あり、採択された。会則改正案の主旨説明で従来の

委員会は、組織的に町内会連合会及び各町内会と連携いされていない点を指摘、組織条項が改正されました。(1)連町理事全員(2)町内会交通安全担当者(3)町内会長推せん者(4)交通安全母の会代表(5)交通指導員(6)交通安全全協

る。会館の使用状況は前年度に比較して、予想以上の高成績だった事は、住民のために、有効に利用されていく結果で、関係者一同意を強くしている。今後もこの状態が永続するよう努力していく事が望まれる。

芸森連町のシンボル やませみ

芸術の森連合町内会のシンボルマークは、当地域の美しい自然と真駒内川の清い流れを象徴する『やませみ』を採用している。

